

FMS便り

言葉の力

2学期始業式(8月21日)
校長講話

第5号

令和6年8月26日(月)

信州大学教育学部附属松本小学校

今日のお話

おかしのすけ
選手から学ぶ

～言葉の力～



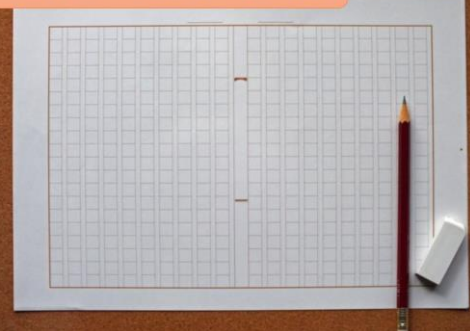
夏休み中に4年に一度のオリンピック、パリオリンピックがありました。日本がオリンピックでメダルをとっているのだけれど、ちょうど500個目のメダルをとった人は、柔道の角田選手。ここ最近強くなったフェンシングは、フェンシングという競技だけでたくさんメダルをとりました。最近のオリンピックはスケートボードやブレイキンという踊りもオリンピックの種目になっています。2人とも金メダルをとりました。吉沢選手は14歳、中学生がオリンピックの金メダルをとりました。オリンピックが終わってメダルの数を見ても日本は金メダルが20個。アメリカ、中国に次いで世界で第三位。金銀銅合わせると45個のメダルをとりました。メダルをとった人たちは当然、すごい努力をしてオリンピックに出ているわけだけれども、今日、皆さんにお話ししたいのは、金メダルをとった人のいろいろなエピソードです。金メダリストのエピソードから学びたいと思います。

岡慎之助選手、金メダリストです。この人のお話をします。岡選手はまだ20歳。この人のすごい所は、体操の男子で52年ぶりに三冠王となったことです。団体の金メダル、個人の金メダル、鉄棒の金メダルで、一人で金メダル3個も取ったんだよね。それが日本では52年ぶりのことだそうです。岡選手が52年ぶりにそんなすごいことができるほど金メダルをとった理由は、言葉の力だそうです。

岡選手の子供の頃、学校の先生などに「これをやりなさい」と言われたら、言われたままやるだけ。体操のコーチに「どうして失敗したの？」ってきかれると、「きつかったからです」。「なんでできなかったの？」と聞かれると、「きつかったからです」。「なんでやらなかったの？」って聞かれると、「きつかったからです」。同じことしか言わなかったそうです。みなさんも担任の先生に「もっと発言しなさい」「言いなさい」といわれたらどう？なかなか言えないよね。いきなり言いなさいと言われても困るよね。岡選手はどうなったかということ、変わったきっかけがありました。いきなり変わったわけではありません。それは、高校生の時に全治8か月の大けがをして、右膝に大けがをして、ずっと入院したりリハビリをしたりしていて、練習ができなかった期間があったそうです。その間に何をしたかということ、本をたくさん読んだそうです。入院中体を動かさないから。ただ読んだだけじゃなくて、読んだ本について自分の考えをまとめて書いたんだって。

「今度の練習では〇〇をしたいと思います」とか、「〇〇という理由があったからこの技ができませんでした」とか、だんだん本を読んで自分の考えを書いているうちに、自分の言葉で言えるようになってきたそうです。そのことが金メダルにつながったんじゃないかと、岡選手は自分で振り返っています。

自分の考えをまとめ、他者に伝える



今話を調べているうちに、どこかで同じような話を聞いたことがあるなと思ったら、大谷選手も自分でやらなければならないことをしっかり書いて、何をするかということ表現してまとめているんだよね。一流選手って自分の考えをもっているんだなと思いました。

読書を通して...

言葉の力UP

考え・実行する力

読書を通して自分の考えをまとめていくということすると言葉の力が高まる。言葉の力が高まると思いや考えが正しく伝わる。先ほど、4年生がきれいな字で書きたいと発表してくれたよね、自分で書いた字がよく読めなくて振り返れない。きれいな字で自分の考えを書くということも大事だなと思いました。さらに、自分の考えをまとめていくとあれ？とか、そうかそういうこと！とか、追究が深

まっていく。同じように先ほどの作文でもう一人の4年生が、もっと難しい勉強に挑戦していきたいです、いろいろな勉強がわかるようになりたいです、と発表してくれました。そういうことも言葉の力が高まっていくと自然についていくのではないかと思います。言葉の力がアップすると、自分で考えて実行する力が高まる。

そのために、具体的に何すればいいのでしょうか。図書委員の人たちがいろいろな工夫をして、20冊達成おめでとう！という読書ラリーをやってくれているよね。児童会活動で本をたくさん読もうねと盛り上げてくれることも必要かと思えます。また、教育実習の先生が「今の松本小はのびのびタイムに図書館を使う学年が決まっているけれど、自由にいつでも図書館に行けるようにした方がいいんじゃないですか」と感想に書いてくれたように、いつでも本を読めるようにする仕組みを整えていく必要もあるんじゃないかなと思えました。さらに、皆さんのお家の人にも実は図書館に来て、本の修理をしたり、新刊本を入れるお手伝いをしたりしてくれています。最後、皆さんだけでなく先生方にもお願いですが、子供たちが自分の言葉で振り返る時間をしっかり確保してほしいと思います。今日の授業はどうだったか振り返りを書く時間をとったり、今日の授業はどうだったか子供同士で語り合う時間をとったり、そして皆さんが発した言葉を丁寧に教室に位置付けているかどうか。そういうことを保障した上で言葉の力が高まっていくんじゃないかなと思います。

3学期の中で一番長い2学期です。言葉の力を高めながら、FMS祭、中核活動など、各クラスでどのように盛り上がっていくか、先生も楽しみです。

そのために...



20さつ
かしたし たつせい
おめでとう！
いばはん おもしろかった ほんのなまえは なんですか？

お家の方のボランティア！



自らの言葉で
振り返る時間！

